



全国高等学校 ビジネスアイデア甲子園



出張講義『ビジネスアイデア甲子園に挑戦しよう』メニュー

大阪商業大学では、全国高等学校ビジネスアイデア甲子園についての出張講義を行っています。出張講義では、「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園活用ガイド」（以下、活用ガイド）を用いながら、過年度の入賞作品を用いた説明や、アイデアの種を考える発想法の紹介、ワークシートを用いたミニワークショップなどを行います。概要は、以下の各項目をご覧ください。

*時間・構成等のご要望についてはご相談ください。

なお、応募アイデアに対する個別の講評はお受けできません。ご了承ください。

【1】 過去の入賞作品をみてみよう！

アイデアをいきなり考え出すことは難しいですから、例えば、どんなアイデアがあるのかをみたり、考えたアイデアをどこまで掘り下げればよいのかを知りたいのではないのでしょうか。活用ガイドには、過年度の入賞作品について、応募用紙のコピー※と、作品に対するポイント解説を掲載しています。この過年度の入賞作品を用いて、同世代の高校生がどのようなアイデアを考えたのか、またそのアイデアの注目すべき点、評価できる点などについて説明します。

※応募用紙の使い方・表現方法に正解はありませんが、自分のアイデアを表現する際にイメージをつかみやすいという参加高校からのご意見をふまえて掲載しています。

【2】 アイデアの種をさがそう！

アイデアは、最初から完全な形で思いつくことはなく、普段の生活や社会のニーズから着想を得て、それに肉付けしていくことで完成していくことが多いのではないのでしょうか。活用ガイドには、普段利用する商品・サービスがどのようなニーズを満たすために生まれたのかを考えるワークシートや、社会で問題となっている課題を解決するための取り組みを考えるワークシートを掲載しています。これらを使いながらアイデアの種をさがす方法について説明します。

【3】 アイデアの全体像を整理しよう！

考え出したアイデアは、応募用紙に表現しなければなりません。ビジネスアイデアとして評価を受けるためには、自らのアイデアが何をどう達成するのか、誰のどのようなニーズを満たすのか、コストや価格といった部分も含めて表現する必要があります。アイデアをまとめていくためのポイントについて、活用ガイドの「企画書（応募用紙）の書き方」を用いて説明します。